

プラン名称:「繋ぐ」～人を繋ぐ、まちを繋ぐ、未来を繋ぐ～

チーム名	好きやに！大分	対象地域	大分ステージ
大学名	佐賀大学・長崎外国語大学・福岡大学・立命館大学	テーマ	■A) 若者を惹き付ける大分の魅力を活かした「観光まちづくり」 □B) ○○の国の人を惹き付ける大分の魅力を活かした「観光まちづくり」 ※○○の中には、国(地域)名を入れてください。
リーダー名	嵯原 愛音		
指導教員名	土居 智典		
メンバー名	吉岡希・小野彩夏・糸長雅矢・小林大志		

【本選出場】 JTB賞 受賞



竹田市
乳湯温泉/久住高原温泉/竹園・既温泉
新入組温泉おこし隊

「繋ぐ」

人を繋ぐ、まちを繋ぐ、未来を繋ぐ

高齢化率県内ワースト1位の竹田から大分県を元気に！

□対象地域における問題意識

① 人口の減少、進行する高齢化社会

▶ 人口24914人(2011年9月)
高齢化率 39.8% (県内ワースト1位)

② 日帰り客が多い

▶ 観光客の約8割が日帰り客

③ 一人あたりの消費額が少ない

▶ 平均2745円

④ 情報発信の効果がでない

▶ 竹田市役所商工観光課ヒアリングより

□現地調査(2015/8/5～8/7) 竹田の魅力発見

豊富な観光資源 + 竹田内部の活動 + 外から見る竹田

歴史ある城下町 久住高原 長湯温泉 など...

全国初「農村回帰宣言市」 TAKETA ART CULTURE 竹田地域おこし協力隊 =若い世代の活躍

チャレンジしたい若者におすすめの田舎 第1位 日本住みたい田舎 ベストランキング 総合6位

⇒若者を惹きつけるものがあるのでは...

□解決策

SPA ROCK @ 久住高原

ターゲット:18～24歳の若者
ロックフェス→若者に絶大な支持
＜例＞WILD BUNCH(山口きらら博記念公園)
⇒交通アクセスが良いわけではないが、目的(フェス)のために全国から人が集まる！

SNS利用率が
最も高い！

テーマ:笑食歩温<元気になる黄金の法則>

- 笑** 多くの人とフェスで共に笑う
- 食** 竹田のご馳走を食べてエネルギーチャージ
- 歩** 久住高原を歩き、自然を感じる
- 温** フェスを楽しんだあとは温泉に入って疲れを癒す！



□新規性

・大分全体を「繋ぐ」という発想
⇒竹田を拠点に県内他地域にも人の循環を！
・フェス得の実施
⇒宿泊施設や飲食店と連携

□期待される効果

- ・観光客増加
- ・複数日開催で長期滞在促進
⇒宿泊客増加
- ⇒一人あたりの消費額増加
- ・大分県全体の活性化
- ・地域の特色PR
- ・地域ブランドの再構築
- ・若者のSNS活用による情報発信
- ・若者の帰属意識

高齢化率ワースト1位の竹田が盛り上がることで
大分の未来も明るくなる！！

問題点	改善点
① 人口の減少、進行する高齢化社会 ▶ 人口 24914人(2011年9月)→14500人(2030年予想) ▶ 高齢化率 39.8%(2011年9月)	① 若者が来たい!住みたい!と思わせる ▶ 「ターン、リターン」の増加 ▶ 若者がチャレンジできるまちへ!
② 日帰り客が多い ▶ 観光客の約8割が日帰り客	② 3Daysのフェスで連泊 ▶ 温泉療養保険プランも合わせて併用
③ 一人あたりの消費額が少ない ▶ 平均2745円	③ 一人あたりの消費額を増やす ▶ フェス+温泉+宿泊+食事=平均予想 2万5千円～3万円
④ 情報発信の効果がでない ▶ 竹田市役所商工観光課ヒアリングより	④ 若者による情報発信 ▶ SNSによる拡散率 8.0%→10万人超

地域を変える、未来を変える
その起点を、その波を 大分県から
創り上げていく！